



JFE

**JFEグループ
インベスターズ・ミーティング**

2015年10月29日

JFEホールディングス



目次

JFE

- JFEグループ2015年度上期決算
及び 2015年度業績見通し
- 配当について
- コーポレートガバナンス基本方針について

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

JFEグループ 2015年度 上期決算

2015年度 上期決算

JFE

(億円)

	2014年度 上期	2015年度 上期	増減
売上高	18,480	17,132	▲1,348
営業利益	821	494	▲327
営業外損益	98	▲10	▲108
経常利益	919	483	▲436
特別損益	▲71	-	71
税前提利益	848	483	▲365
税・非支配株主損益	▲325	▲184	141
親会社株主帰属 当期純利益	523	299	▲224

2015年度 上期決算

セグメント別売上高/経常利益

(億円)

	2014年度 上期	2015年度 上期	増減
鉄鋼事業	14,241	12,460	▲1,781
エンジニアリング事業	1,446	1,535	89
商社事業	9,462	9,145	▲317
調整額	▲6,670	▲6,010	660
売上高	18,480	17,132	▲1,348
鉄鋼事業	776	386	▲390
エンジニアリング事業	6	▲0	▲6
商社事業	114	98	▲16
調整額	22	▲0	▲22
経常利益	919	483	▲436

2015年度 上期決算

セグメント別売上高/経常利益

(億円)

		2015年度上期		増減
		前回見通し	今回実績	
鉄鋼事業		12,600	12,460	▲140
エンジニアリング事業		1,600	1,535	▲65
商社事業		9,800	9,145	▲655
調整額		▲6,000	▲6,010	▲10
売上高		18,000	17,132	▲868
鉄鋼事業		380	386	6
エンジニアリング事業		10	▲0	▲10
商社事業		95	98	3
調整額		15	▲0	▲15
経常利益		500	483	▲17

JFEグループ 2015年度 連結業績見通し



足下の事業環境認識

JFE

□国内環境

- 分野による遅れ進みはあるが需要は概ね堅調
- 在庫調整は進展しているがもう一段の見極めが必要

◆製造業

- ・自動車： 従来想定どおり下期での増加を見込む
- ・造船： 引き続き昨年度並の高水準を維持
- ・建機： 資源国の需要低迷を受け下期も低水準が継続

◆土木・建築

鉄骨需要は堅調。大型プロジェクト施工は想定よりやや遅れているが、年明け以降の本格化を見込む

□海外環境

- 中国内需減少による輸出シフト、及び保護主義の影響により、国際市場悪化が想定以上に長期化
- ASEAN諸国での自動車生産回復の遅れ
- エネルギー価格低迷の長期化



2015年度収益見通しと当社の取り組み

JFE

□2015年度収益見通し

国際市況低迷の長期化をはじめとした上述の環境前提を受け、当年度収益見通しを減額修正する

2015年度年間業績予想(経常利益): 1,000億円

前回(7月30日)予想: 2,000億円

□当社の取り組み

足下の事業環境は厳しいが、資産圧縮等による財源確保も視野に入れ、中期計画の確実な実行による収益基盤の強化を目指す

- ◆国内: 製造基盤整備の継続的实施による、製造実力の維持・向上、コスト削減の推進
- ◆海外: 自動車を中心とした重点分野の強化、及び中長期的視点に立った成長戦略の推進



2015年度業績見通し

対 前 回

(億円)

	2015年度見通し (前回)		2015年度見通し (今回)		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
売上高	18,000		17,132	36,600	▲868	
営業利益	450		494	1,200	44	
営業外損益	50		▲10	▲200	▲60	
経常利益	500	2,000	483	1,000	▲17	▲1,000
特別損益	-		-	0	-	
税前利益	500		483	1,000	▲17	
税・非支配株主損益	▲200		▲184	▲500	16	
親会社株主帰属 当期純利益	300		299	500	▲1	

ROS

2.8%

2.8%

2.7%

2015年度業績見通し

JFE

対前年度

(億円)

	2014年度実績		2015年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
売上高	18,480	38,503	17,132	36,600	▲1,348	▲1,903
営業利益	821	2,225	494	1,200	▲327	▲1,025
営業外損益	98	84	▲10	▲200	▲108	▲284
経常利益	919	2,310	483	1,000	▲436	▲1,310
特別損益	▲71	▲43	-	0	71	43
税前利益	848	2,266	483	1,000	▲365	▲1,266
税・非支配株主損益	▲325	▲873	▲184	▲500	141	373
親会社株主帰属 当期純利益	523	1,393	299	500	▲224	▲893
ROS	5.0%	6.0%	2.8%	2.7%	▲2.2%	▲3.3% _{p1}

2015年度業績見通し

セグメント別売上高/経常利益

JFE

対前年度

(億円)

	2014年度実績		2015年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
鉄鋼事業	14,241	28,738	12,460	25,500	▲1,781	▲3,238
エンジニアリング事業	1,446	3,673	1,535	4,000	89	327
商社事業	9,462	19,344	9,145	19,200	▲317	▲144
調整額	▲6,670	▲13,253	▲6,010	▲12,100	660	1,153
売上高	18,480	38,503	17,132	36,600	▲1,348	▲1,903
鉄鋼事業	776	1,885	386	600	▲390	▲1,285
エンジニアリング事業	6	180	▲0	200	▲6	20
商社事業	114	246	98	200	▲16	▲46
調整額	22	▲2	▲0	0	▲22	2
経常利益	919	2,310	483	1,000	▲436	▲1,310

JFEスチール 2015年度 上期決算

生産・出荷状況

JFE

■ 単独粗鋼・出荷(万t)

	2014年度 上期 A	2014年度 年間
粗鋼生産	1,450	2,844
出荷	1,304	2,607

2015年度 上期 B
1,345
1,237

対前年度 上期 B-A
▲105
▲67

■ 連結粗鋼(万t)

粗鋼生産	1,588	3,104
------	-------	-------

1,469

▲119

2014年下期⇒2015年度上期 連結経常利益 ▲723億円内訳

単位:億円

JFEスチール	2014年度下期 実績	2015年度上期 実績	差異 2014下→2015上
経常利益	1,109	386	▲ 723

■ コスト削減 + 80

■ 数量・販価・原料 ▲ 450 ⇒ 数量減、輸出販売価格等

■ 棚卸資産評価差等 ▲ 250

■ その他 ▲ 103

合計 ▲ 723

2015年度上期 前回⇒今回 連結経常利益 +6億円内訳



単位:億円

JFEスチール	15年度上期 前回(7/30)	15年度上期 実績	差異 前回→今回
経常利益	380	386	+ 6

- コスト削減 ▲ 20
- 棚卸資産評価差等 ▲ 50
- その他 + 76

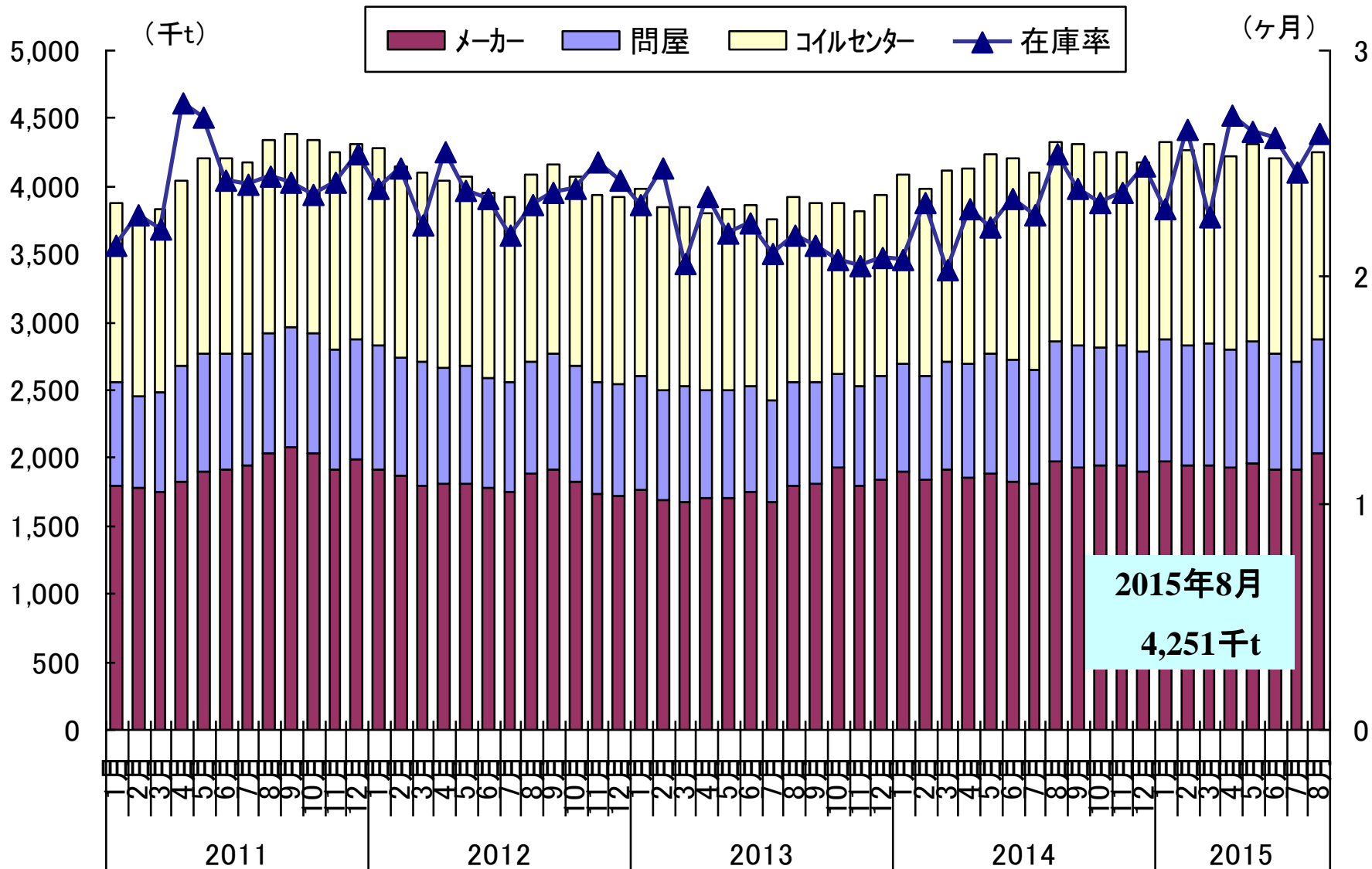
合計 + 6

JFEスチール 2015年度 業績見通し

国内販売環境

薄板 3 品在庫

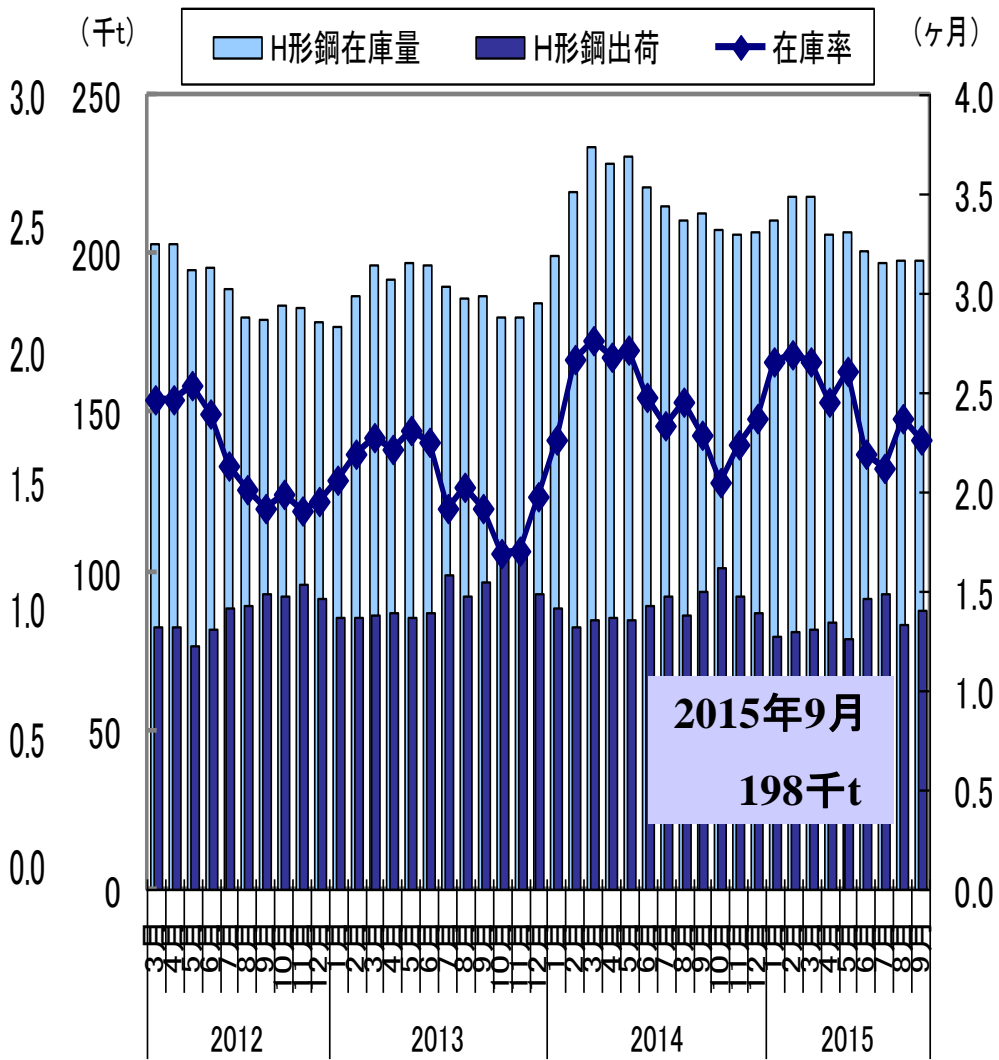
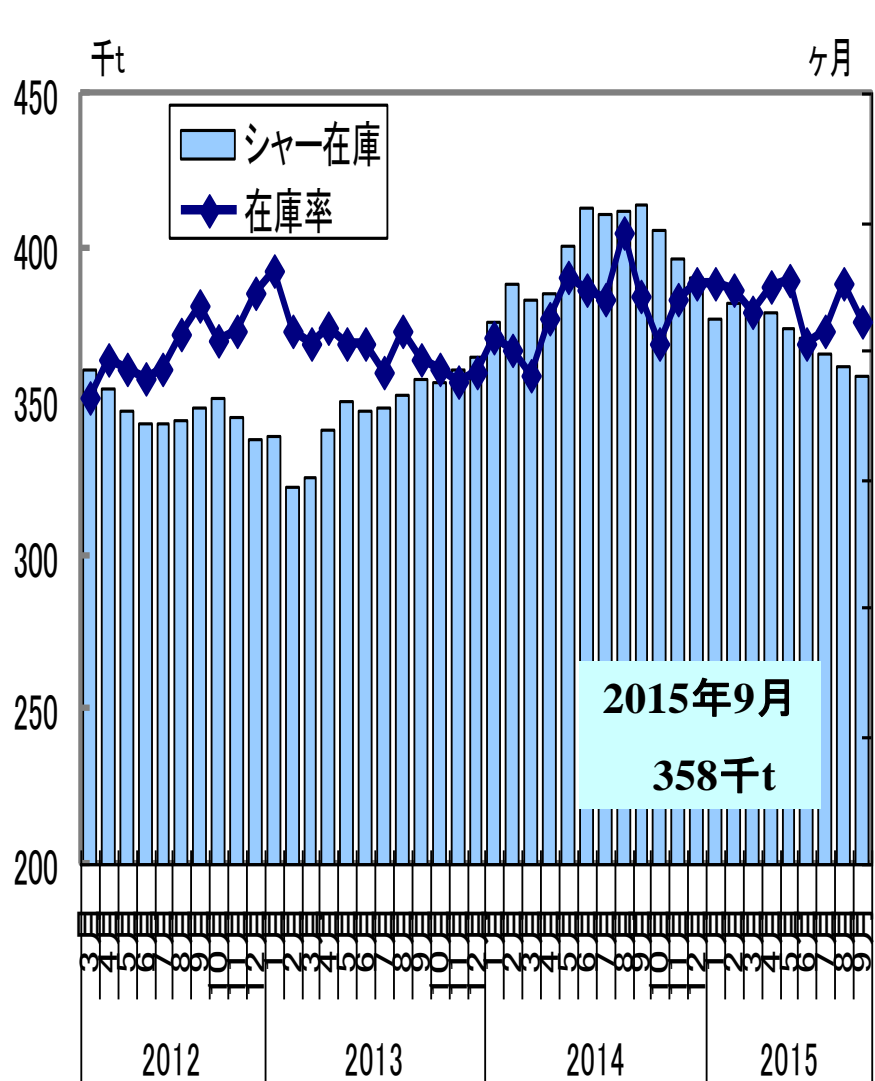
JFE





国内販売環境

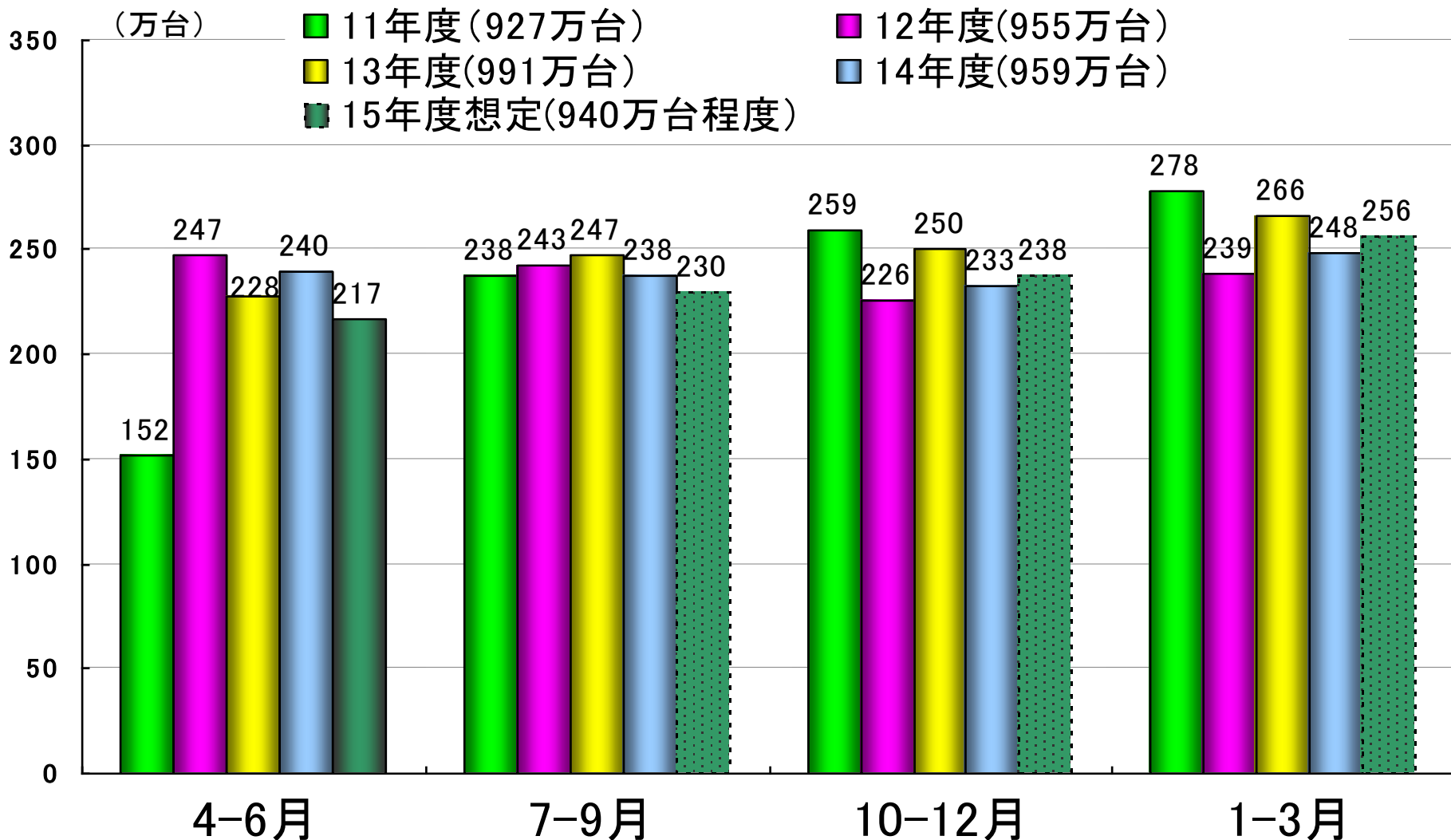
厚板シャー・H形鋼在庫



国内販売環境

自動車生産台数見通し

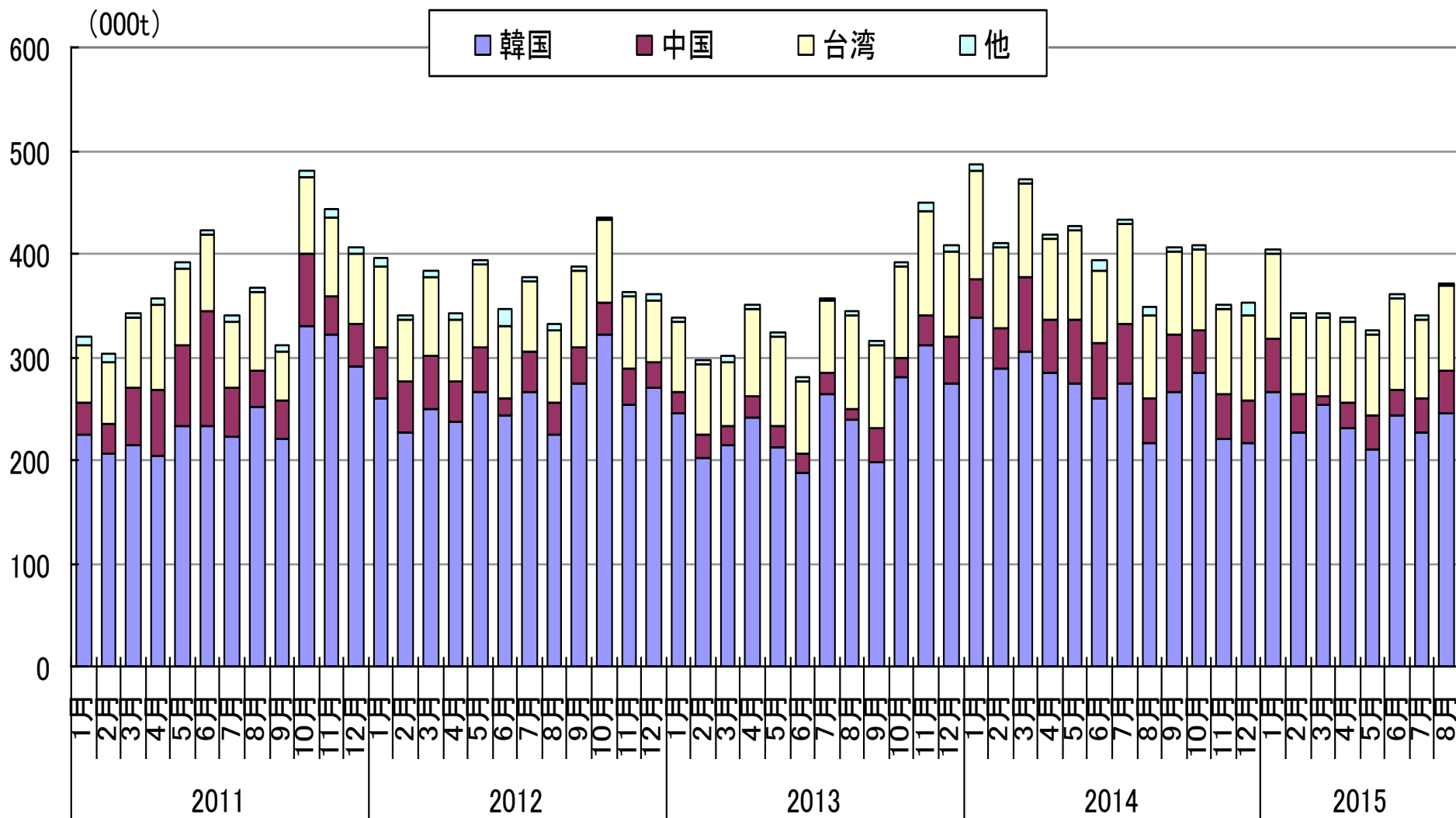
JFE



国内販売環境

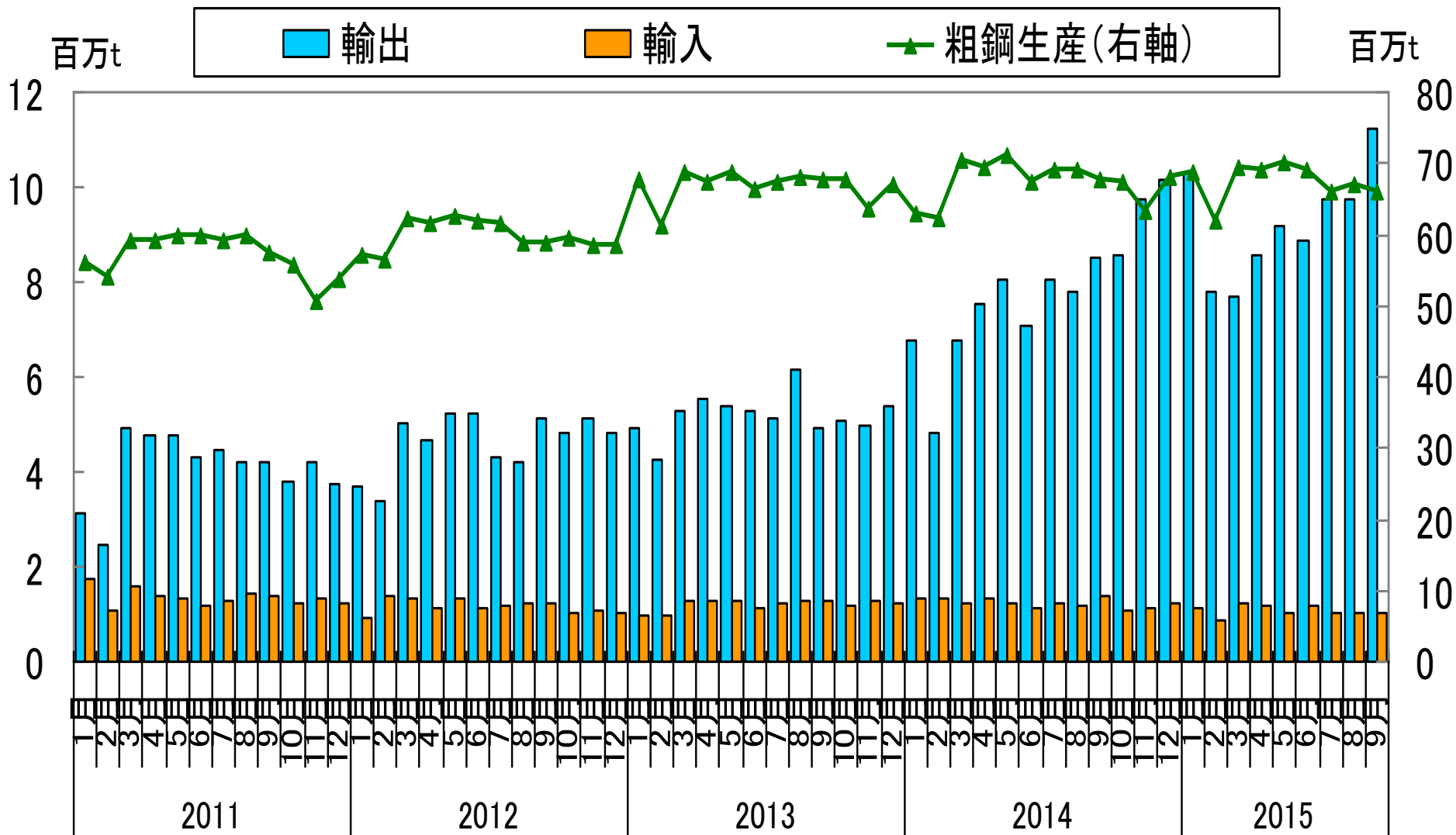
輸入鋼材(普通鋼/国別)

JFE



海外販売環境

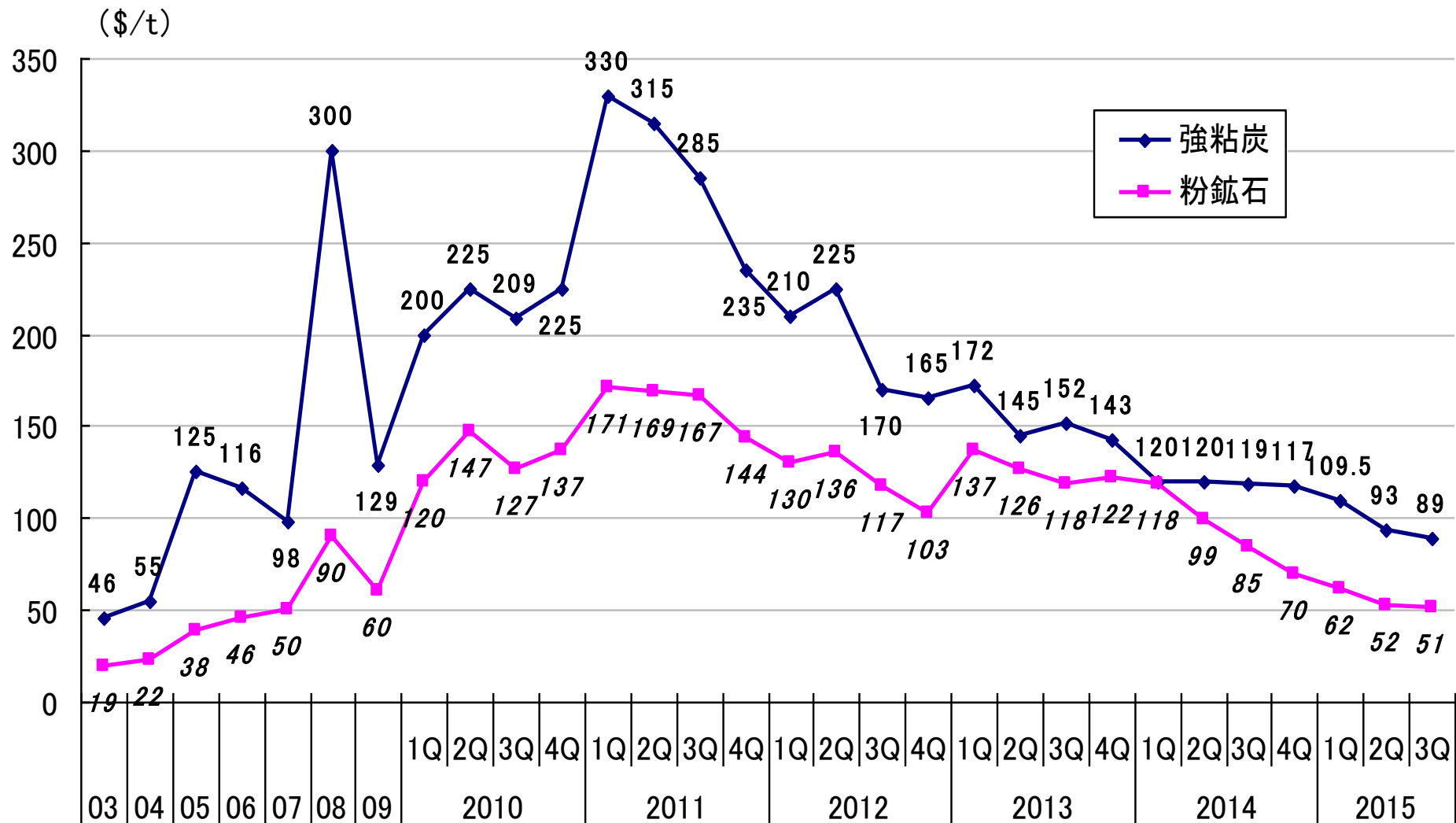
中国粗鋼生産・輸出入



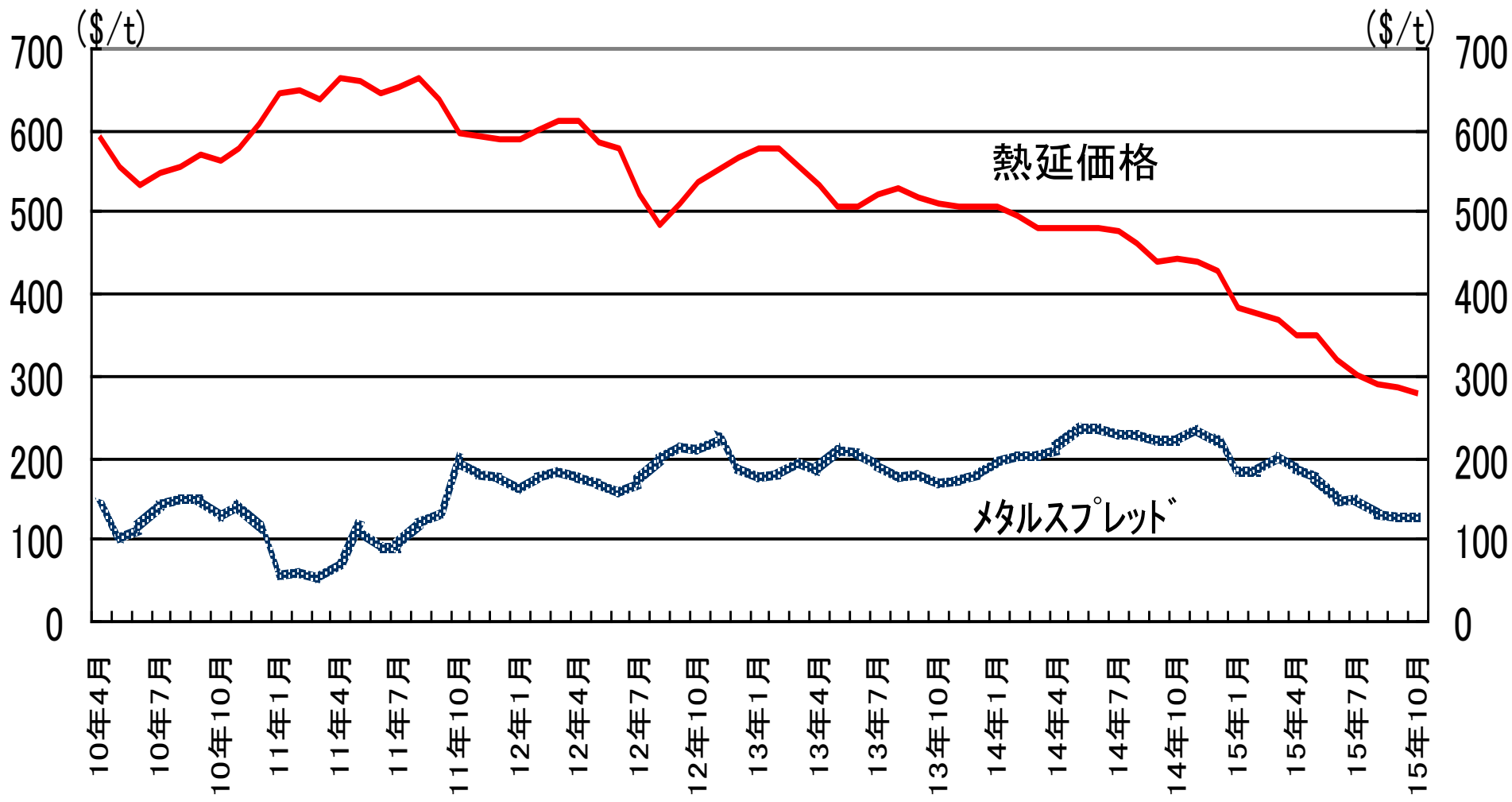
※1,2月粗鋼生産量はWSA推定

原料 主原料価格

JFE



海外販売環境



メタルスプレッド = 熱延価格 - 主原料コスト

※熱延価格: 中国21都市平均価格, 主原料コスト: 粉鉱石、超良質強粘炭市況ベース

当社の状況(生産・出荷)

■ 単体粗鋼/出荷 (万ト)

	2014 年度 (実績)	2015年度上期		
		4-6月 (実績)	7-9月 (実績)	計 (実績)
粗鋼生産	2,844	654	691	1,345
鋼材出荷	2,607	598	639	1,237

年間
2,770
程度

平均単価(千円/ト)	77.1	73.5	68.8	71.0
為替レート(円/ドル)	109.2	121.0	122.6	121.8

■ 連結粗鋼 (万ト)

粗鋼生産	3,104	719	750	1,469
------	-------	-----	-----	-------

2015年度業績見通し

JFE

単位: 億円

JFEスチール (連結)	2014年度実績			2015年度見通し			年度差異 2014 → 2015
	上期	下期		上期	下期		
売上高	14,241	14,497	28,738	12,460	13,040	25,500	▲3,238
経常利益	776	1,109	1,885	386	214	600	▲1,285
ROS	5.4%	7.6%	6.6%	3.1%	1.6%	2.4%	-4.2%

2015年度上期⇒下期連結経常利益 ▲172億円内訳

JFE

単位:億円

JFEスチール	2015年度見通し		上下差異 2015上→下
	上期	下期	
経常利益	386	214	▲ 172

- コスト削減 + 90
- 数量・販価・原料 ▲ 100 ⇒ 輸出販売価格等
- 棚卸資産評価差等 + 150
- その他 ▲ 312 ⇒ グループ会社損益、償却等

合計 ▲ 172

2015年度 連結経常利益 対前年 ▲1,285億円内訳

JFE

単位:億円

JFEスチール	14年度 実績	15年度 見通し	年度差異 14→15
経常利益	1,885	600	▲ 1,285

■ コスト削減 + 350

■ 数量・販価・原料 ▲ 1,050 ⇒ 数量・構成、輸出販売価格等

■ 棚卸資産評価差等 ▲ 300

■ その他 ▲ 285 ⇒ グループ会社損益、償却・労務・外注費増、廃却等

合計 ▲ 1,285

2015年度 前回⇒今回連結経常利益 ▲900億円内訳



単位:億円

JFEスチール	15年度 前回	15年度 今回	年度差異 前回⇒今回
経常利益	1,500	600	▲ 900

- コスト削減 ▲50 ⇒ 基盤整備前倒し
- 数量・販価・原料 ▲500 ⇒ 数量・構成、輸出販売価格等
- 棚卸資産評価差等 ▲150
- その他 ▲200

合計 ▲900



第5次中期経営計画の取り組み状況(国内)

JFE

製造基盤整備の継続的实施による、製造実力の維持・向上、コスト削減の推進

□ 国内設備投資の推進(6,500億円/3カ年規模)

【主な設備投資案件の進捗】

－ コークス炉更新

◆ 倉敷3CO(2015年度下期稼動予定)

◆ 千葉6A(2016年度下期稼動予定)

◆ 倉敷2CO(2017年度上期稼動予定)

－ エネルギー関連

◆ 千葉西発電所リフレッシュ(2015年7月稼動) ほか

□ 国内製造基盤強化

－ 重点的な設備補修の実施

◆ 足下低操業下での設備補修の前倒し実行

－ 設備保全・更新を担う機能分担会社の強化

◆ JFEメカニカル・JFE電制の統合(2016年4月1日目処)

5次中期でのコスト削減
(3カ年累計):

1,100億円

主として投資効果の
回収により実現



第5次中期経営計画の取り組み状況(海外)

JFE

自動車を中心とした重点分野の強化、及び中長期的視点に立った成長投資

□ 自動車用鋼材供給体制の拡大

- 既存拠点(中国GJSS、タイJSGT、インドJSW)の収益向上・数量拡大に向けた取り組みの継続
- インドネシアJSGIの円滑立上げ(2016年3月稼動予定)
- 超ハイテンの現地供給化推進(GJSS、JSGT)
- 中国JJP(嘉興JFE精密鋼管)の生産開始(2015年7月)

□ ベトナム一貫製鉄所プロジェクト(FHS)への参画決定

- 当社の持つ高い技術力、優良な顧客基盤に加えて、現地のコスト競争力を活用し、FHSの製品をJFEブランドとして販売
- 出資比率(5%)とは関係なく、一定数量を引き取り販売
- 当社アライアンス先向けの汎用品に近い鋼材をFHSからの供給に切り替えることにより、当社プロミックスの改善を図る



JFEエンジニアリング 2015年度 業績見通し



JFEエンジニアリング 2015年度業績見通し

JFE

(億円)

対 前回

	2015年度見通し (前回7/30)		2015年度見通し (今回)		増減	増減
	上期	年間	上期	年間	上期	年間
受注高	2,000		1,972	4,500	▲28	
売上高	1,600		1,535	4,000	▲65	
経常利益	10	200	▲0	200	▲10	±0

【主な増減要因】

(上期 前回 対 今回)

売上高 ▲65

経常利益 ▲10

売上工事の構成差

(年間 前回 対 今回)

経常利益 ±0

前回見通し通り



JFEエンジニアリング 2015年度業績見通し

JFE

対前年度

(億円)

	2014年度実績		2015年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
受注高	2,148	4,595	1,972	4,500	▲176	▲95
売上高	1,446	3,673	1,535	4,000	+89	+327
経常利益	6	180	▲0	200	▲6	+20

【主な増減要因】

受注高 (年間) ▲95 福島 災害廃棄物処理の減少
(14:4件 → 15:1件) 他

売上高 (年間) +327 受注拡大に伴う増加

経常利益 (年間) +20 売上高増に伴う増加



JFEエンジニアリング 受注内容

(単位:億円)

分野	2014年度 実績	2015年度 見通し	増減	2015年度上期の主な受注内容 ★…第2四半期新規・追加受注案件
環境 エネルギー	3,452	3,300	△152	★福島県楢葉町 災害廃棄物処理業務 ごみ焼却施設 基幹改良工事 (福井県小浜市、★三重県菰野町、★北海道苫小牧市、★千葉県印西市) ★ミャンマー国ヤンゴン市 廃棄物発電プラント 石油資源開発(株) 相馬・岩沼間パイプライン建設工事 太陽光発電所 全国 9ヶ所 [★2Q:6ヶ所]
鋼構造 産業機械 他	1,142	1,200	58	上信越自動車道 太田切川橋 宮城県 大川・気仙沼港 ハイブリッド防潮堤 JA西日本くみあい飼料(株) 倉敷工場 建設工事 ★東京港埠頭(株) コンテナクレーン製作据付 船舶用バラスト水管理システム(商品名:バラストエース) 79隻分 [★2Q:61隻分]
合計	4,595	4,500	△95	



ミャンマー初の廃棄物発電プラントを受注

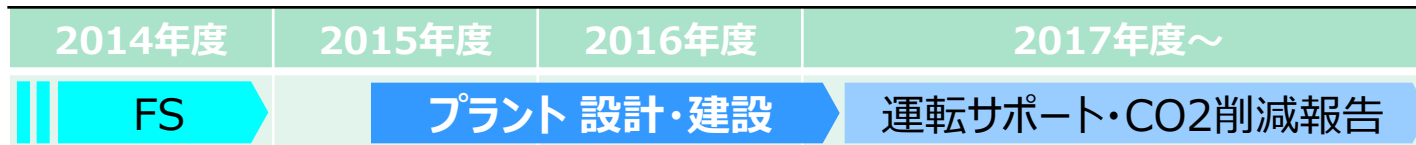
～ CO2排出削減に関する二国間クレジット制度（JCM ※）を活用（予定）～

JFE

ミャンマーでは、急速な経済発展に伴いごみの排出量が増加し、適切な処理施設の整備が急務



(スケジュール)



2017年度以降、運転はヤンゴン市が実施

※JCM：途上国に対し、優れた環境技術の普及によって実現する温室効果ガス排出削減量を、日本の排出削減目標の達成に活用できる制度。

ミャンマー初の廃棄物発電プラントを受注

- ◆ 同国にて不足する電力を供給(5,200MWh/年)
- ◆ CO2排出量の削減に貢献(2,400トン/年)

発注者	ミャンマー国ヤンゴン市
請負範囲	一般廃棄物焼却施設 設計建設 (ストーカ炉：60t/日×1炉)
建設場所	ヤンゴン市内北部 シュエピーター地区
発電容量	700kW

このプロジェクトをはじめとして、橋梁や上下水プラントなど幅広い商品技術の提供を通じ、同国の経済発展に貢献していく



JFE商事

2015年度 業績見通し



JFE商事 2015年度業績見通し

JFE

対 前 回

(億円)

	2015年度見通し (前回7/30)		2015年度見通し (今回)		増減	増減
	上期	年間	上期	年間	上期	年間
売上高	9,800		9,145	19,200	▲655	
経常利益	95	230	98	200	3	▲30

【主な増減要因】

中国ミル製品の過剰な供給による鋼材価格下落等の影響により国際市況が低迷。
通期の経常利益は、前回公表値比▲30億円の200億円の見通し。



JFE商事 2015年度業績見通し

JFE

対前年度

(億円)

	2014年度実績		2015年度見通し		増減 年間
	上期	年間	上期	年間	
売上高	9,462	19,344	9,145	19,200	▲144
経常利益	114	246	98	200	▲46

【経常利益の主な増減要因】

<国内>

- ・建材、鋼管分野は堅調に推移するものの、鋼板製品については市況の先安観から価格が下落。在庫調整の影響により販売数量の減少により前期比減益の見込み。

<海外>

- ・中国ミル製品の過剰な供給による価格下落の影響等により、前期比減益の見込み。

JFE商事 セグメント別売上高

JFE

単位:億円		2014年度実績		2015年度見通し		増減	
国内		10,071		9,767		▲304	
海外	輸出	4,527	7,438	4,496	7,518	▲31	80
	海外事業	2,911		3,022		111	
その他(原材料・資機材・調整額他)		1,835		1,915		80	
合計		19,344		19,200		▲144	



JFEホールディングス 2015年度 業績見通し

2015年度業績見通し

JFE

対前年度

(億円)

	2014年度実績		2015年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
売上高	18,480	38,503	17,132	36,600	▲1,348	▲1,903
営業利益	821	2,225	494	1,200	▲327	▲1,025
営業外損益	98	84	▲10	▲200	▲108	▲284
経常利益	919	2,310	483	1,000	▲436	▲1,310
特別損益	▲71	▲43	-	0	71	43
税前利益	848	2,266	483	1,000	▲365	▲1,266
税・非支配株主損益	▲325	▲873	▲184	▲500	141	373
親会社株主帰属 当期純利益	523	1,393	299	500	▲224	▲893
ROS	5.0%	6.0%	2.8%	2.7%	▲2.2%	▲3.3% ₄₂

HD連結一過性要因前経常利益

(億円)

	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 概算
売上高	36,668	38,503	36,600
経常利益	1,736	2,310	1,000
ROS	4.7%	6.0%	2.7%
一過性要因	150	▲320	▲600
一過性要因前経常利益	1,600	2,600	1,600
ROS	4.4%	6.8%	4.4%

キャッシュフローの状況

JFE

2015年度連結キャッシュフロー(見通し)

原資	用途
当期純利益 500	配当金支払他 400
	設備投資・投融資 2,300
減価償却費 1,800	
資産圧縮他 1,000	借入金返済 600
3,300	3,300

1,000億円程度の資産圧縮
(主として投資有価証券)による
財源確保を図る

借入金・社債等残高(期末)	14,400億円
D/Eレシオ ※	57.7%

※借入金・社債等残高/自己資本

格付け評価上の資本性を併せ持つ負債
(3,000億円)について、格付機関の評価によ
り75%を資本に算入

配当について

配当について

- 当期の中間配当につきましては、1株当たり20円を支払うことを取締役会にて決議いたしました。
- 期末の配当につきましては、今後、業績動向を見極めつつ検討することとしており、未定であります。

コーポレートガバナンス基本方針 について

「JFEホールディングス コーポレートガバナンス基本方針」 の制定・公表について(1)

■ 制定の目的

当社は、本年6月より適用開始された「コーポレートガバナンス・コード」の趣旨・精神を踏まえたうえで、当社の持続的な成長および企業価値の向上のために、最良のコーポレートガバナンスの追求およびその充実を図ることを目的として、「JFEホールディングス コーポレートガバナンス基本方針」を制定(弊社ホームページに掲載)。

なお、本日、「コーポレートガバナンス報告書」をコードに対応した新様式にて東京証券取引所へ提出。

■ 基本方針の構成

1. 総則
2. ステークホルダーとの関係
3. 適切な情報開示
4. 当社のコーポレートガバナンス体制

■ 基本方針の主な内容

1. 任意の諮問委員会の設置

本年10月より、取締役等の人事および報酬についての取締役会の諮問機関として、過半数が社外役員で構成される指名委員会および報酬委員会をそれぞれ新たに設置する。

2. 社外役員の独立性基準

当社としての基準を新たに策定。

3. 取締役会の実効性についての分析・評価

取締役会の実効性を高めるべく、本年度から、全ての取締役・監査役から自己評価のヒアリング等を実施し、取締役会で改善点等を議論する予定。

4. 株式の政策保有・その議決権行使に関する基本方針

事業会社3社による政策保有の基本方針と、取締役会での定期的な保有意義等の確認について記載。また、政策保有株式に係る議決権行使についての方針についても記載。

参考資料



主な財務関連データ

JFE

(見通し)

年度	'03	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15
【主要財務指標】(億円、%)										
経常利益	2,183	5,029	4,005	692	1,658	529	522	1,736	2,310	1,000
ROS ※1	8.8%	14.2%	10.2%	2.4%	5.2%	1.7%	1.6%	4.7%	6.0%	2.7%
ROE ※2	15.9%	17.5%	13.7%	3.3%	4.1%	-2.6%	2.7%	6.3%	7.7%	2.6%
ROA ※3	6.5%	13.0%	10.0%	2.2%	4.6%	1.7%	1.6%	4.5%	5.5%	2.5%
借入金・社債等 残高(期末)	18,374	12,819	17,687	14,684	14,964	15,936	15,963	15,340	15,017	14,400
D/Eレシオ※4	246.2%	61.4%	98.9%	75.5%	76.5%	83.5%	76.9%	67.9%	59.0%	57.7%
【1株当たり情報】(円/株、%)										
当期純利益	185.8	450.5	355.6	86.3	110.7	-68.7	71.2	177.4	241.6	86.7
配当金	30	120	90	20	35	20	20	40	60	※ 20
配当性向	16.1%	26.6%	25.3%	23.2%	31.6%	-	28.1%	22.5%	24.8%	-

※1 ROS: 経常利益/売上高

※2 ROE: 親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本

※3 ROA: (経常利益+支払利息)/総資産

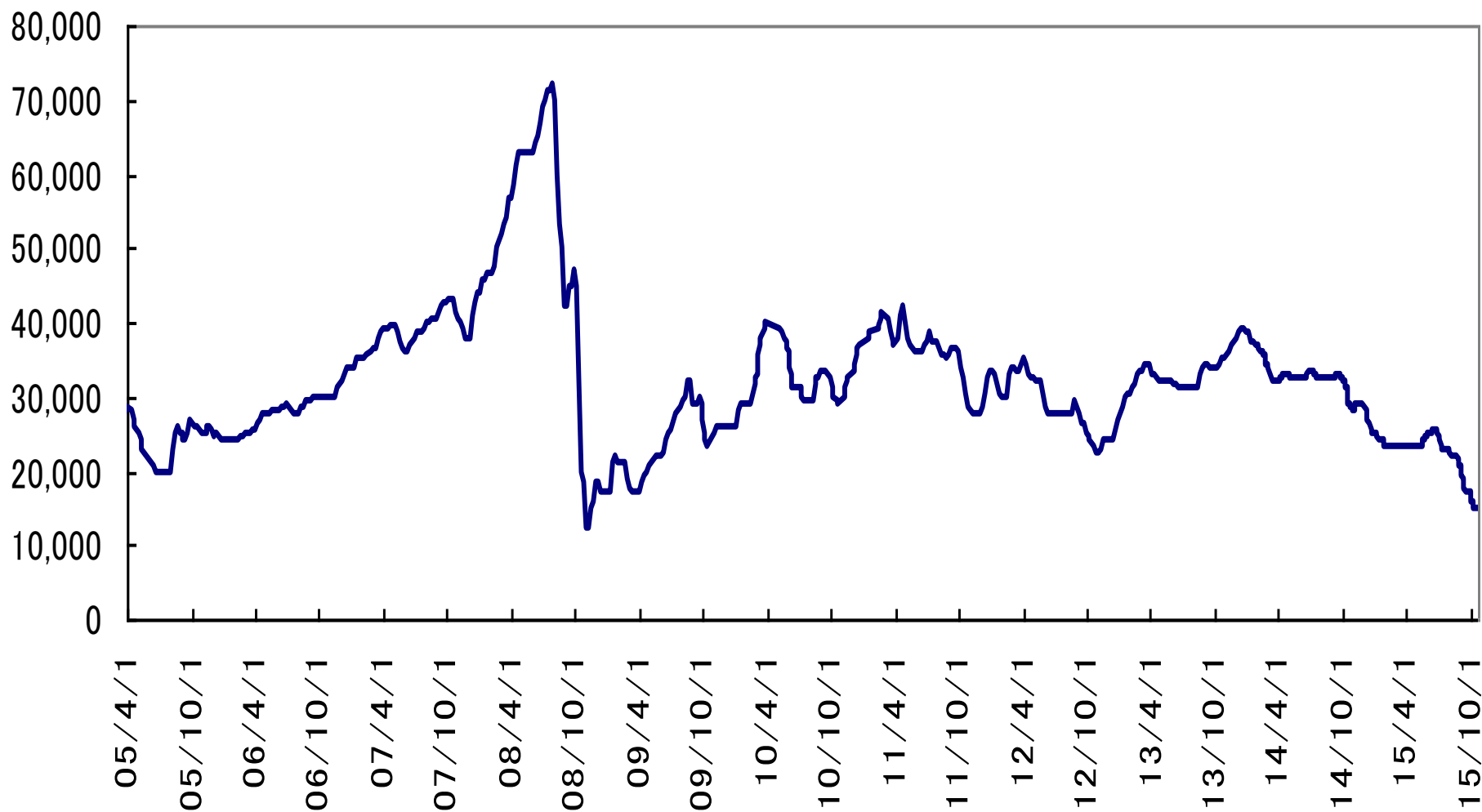
※4 D/Eレシオ: 借入金・社債等残高/自己資本 但し、格付け評価上の資本性を併せ持つ負債(3,000億円)について、格付機関の評価により75%を資本に算入。

(※) 中間配当

原料

スクラップ価格

(円/t)



原料

スポット傭船料

(\$/日)

300,000

250,000

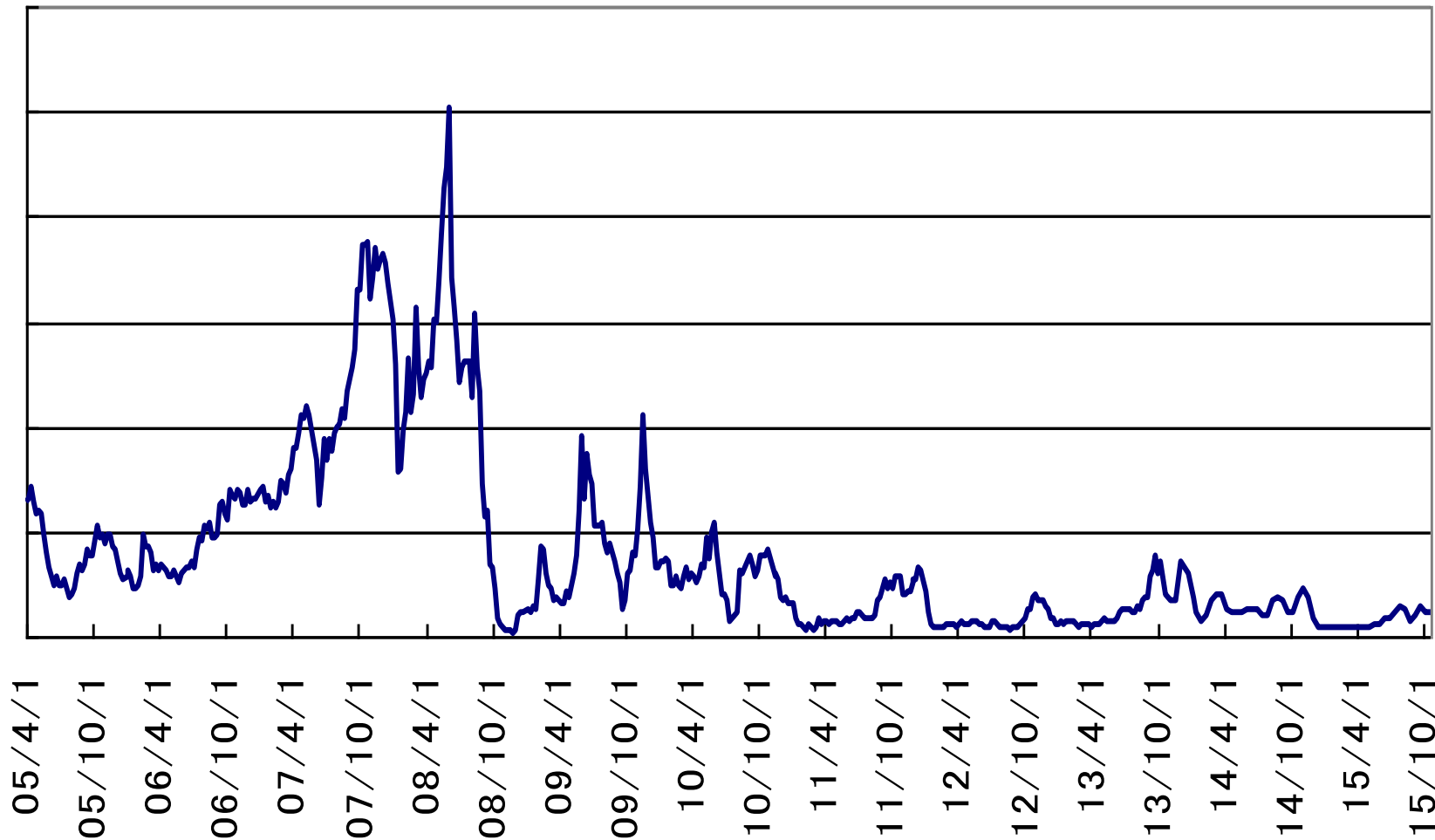
200,000

150,000

100,000

50,000

0



原料

LNG市況



JFE

(円/t)





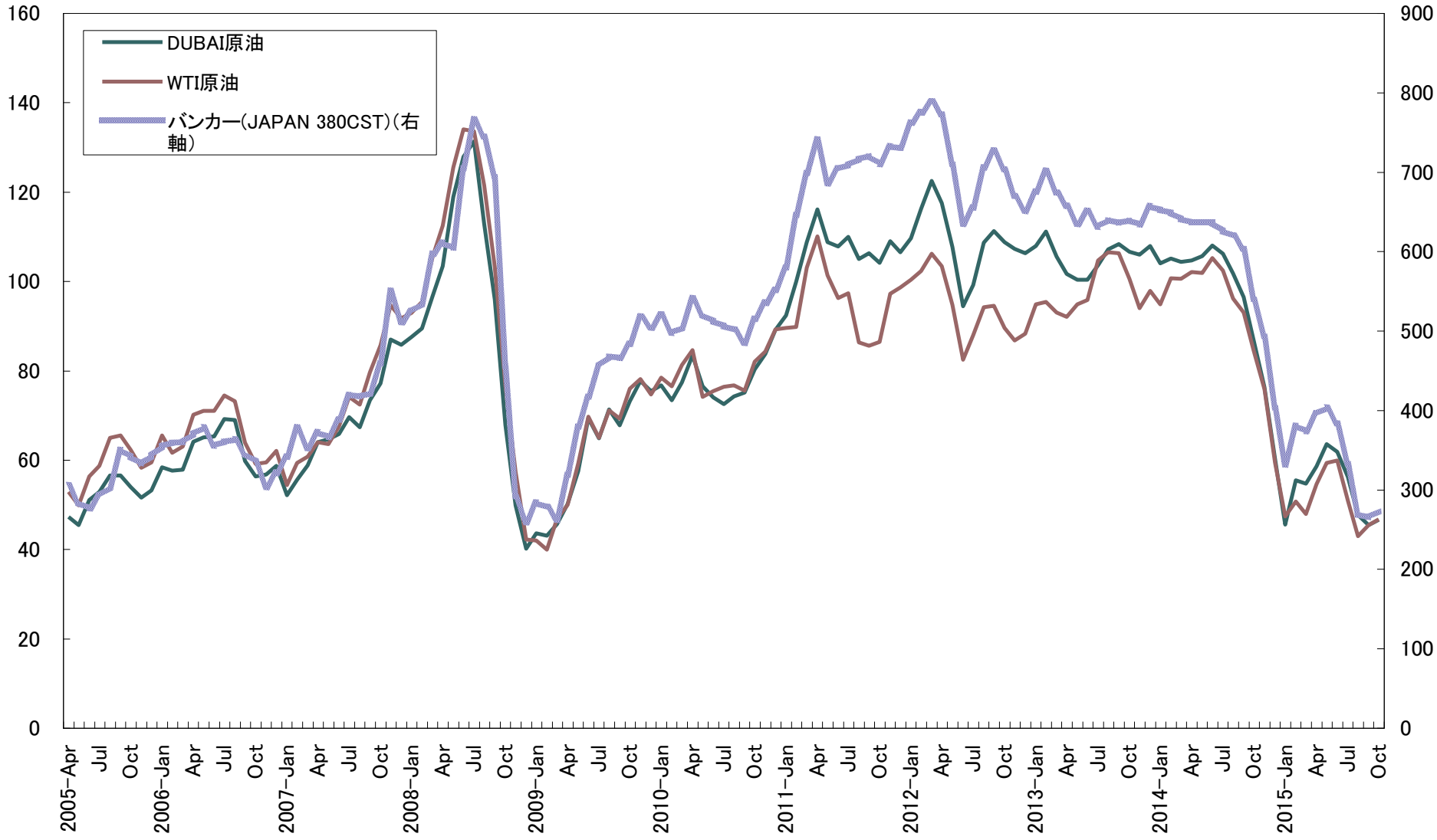
原料

原油・バンカー価格

JFE

(crude oil: \$/bbl)

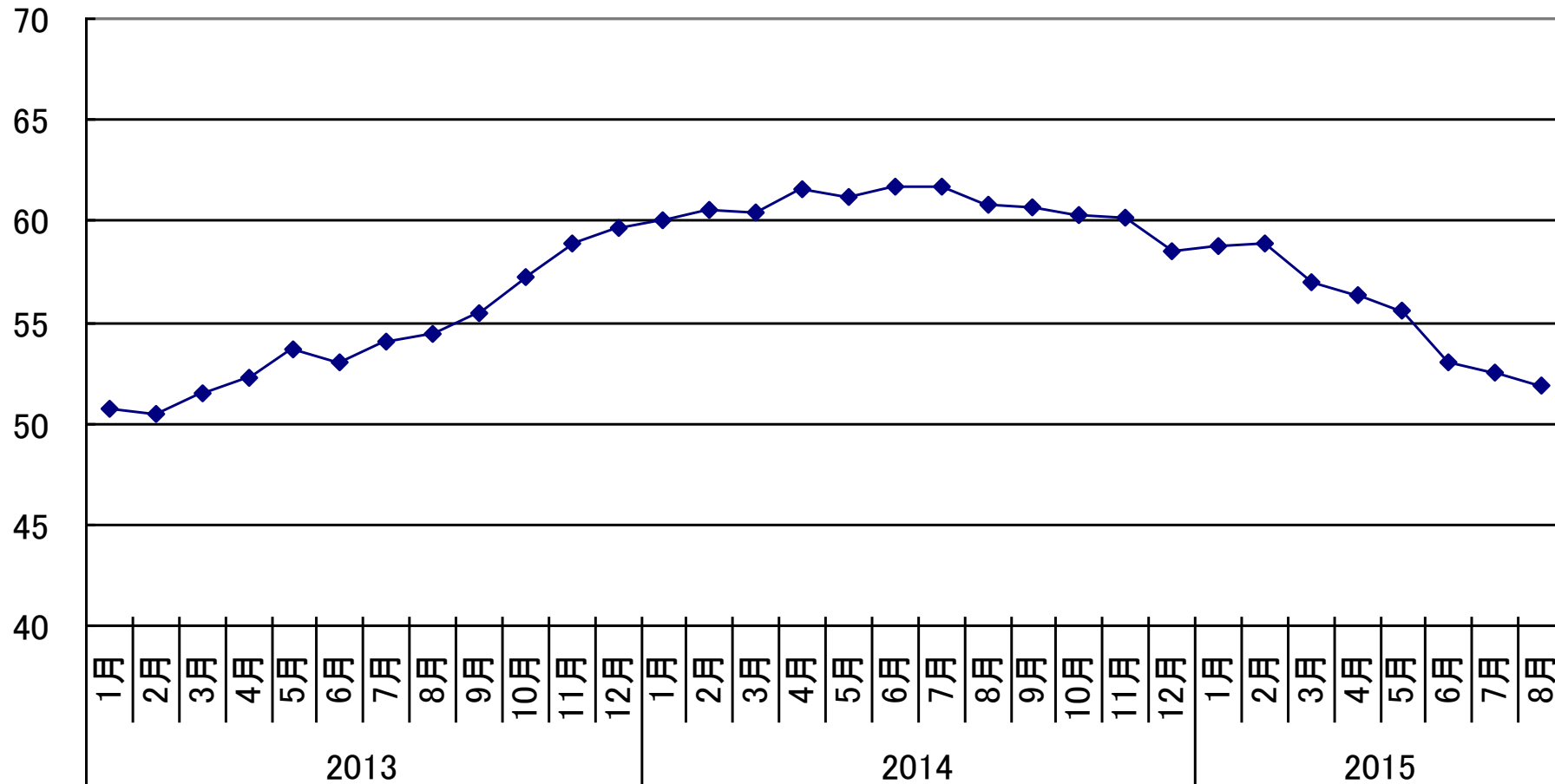
(Bunker oil: \$/t)



国内販売環境

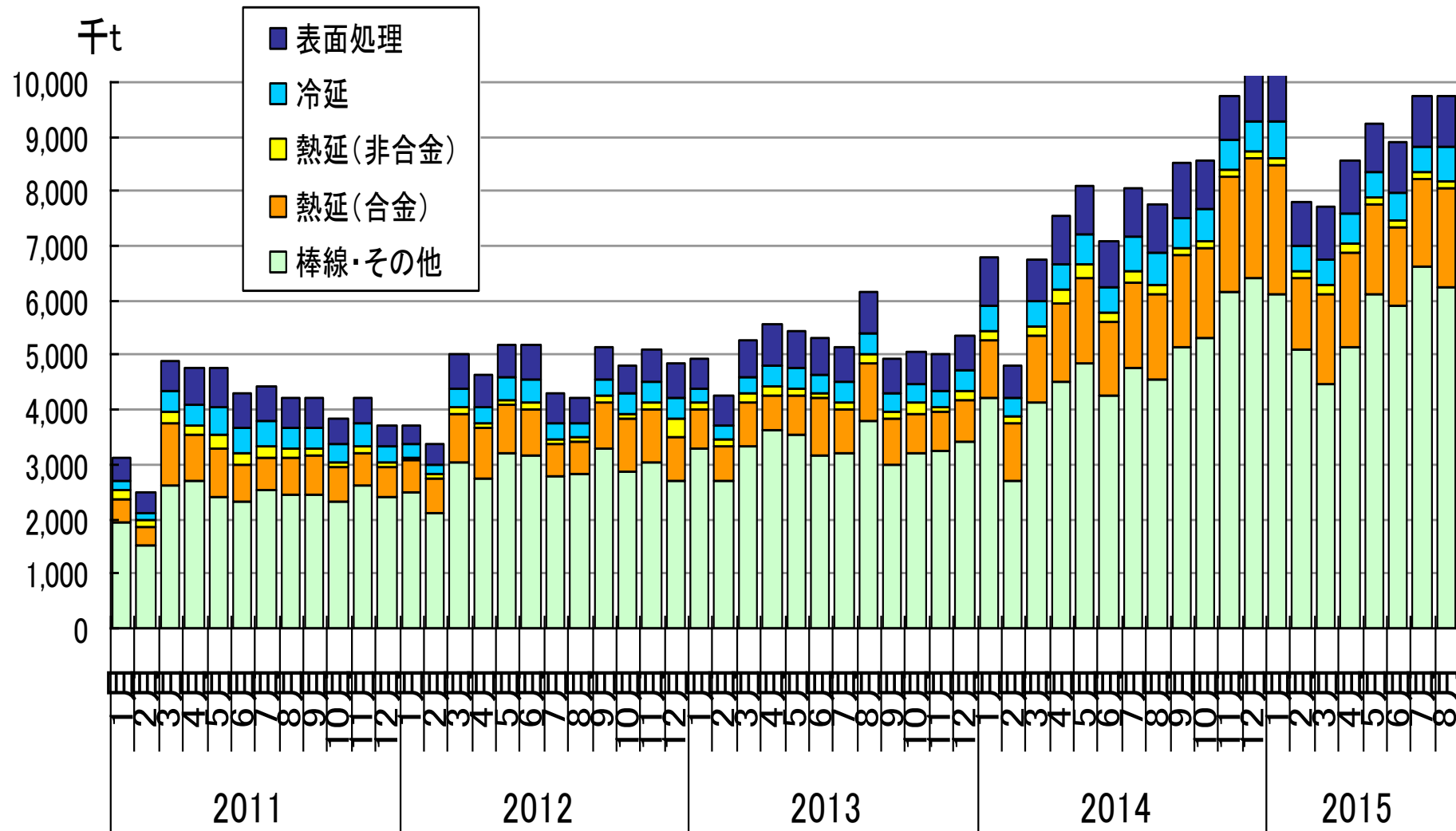
輸入鋼材価格

(千円/t)



海外販売環境

中国輸出 (品種別)

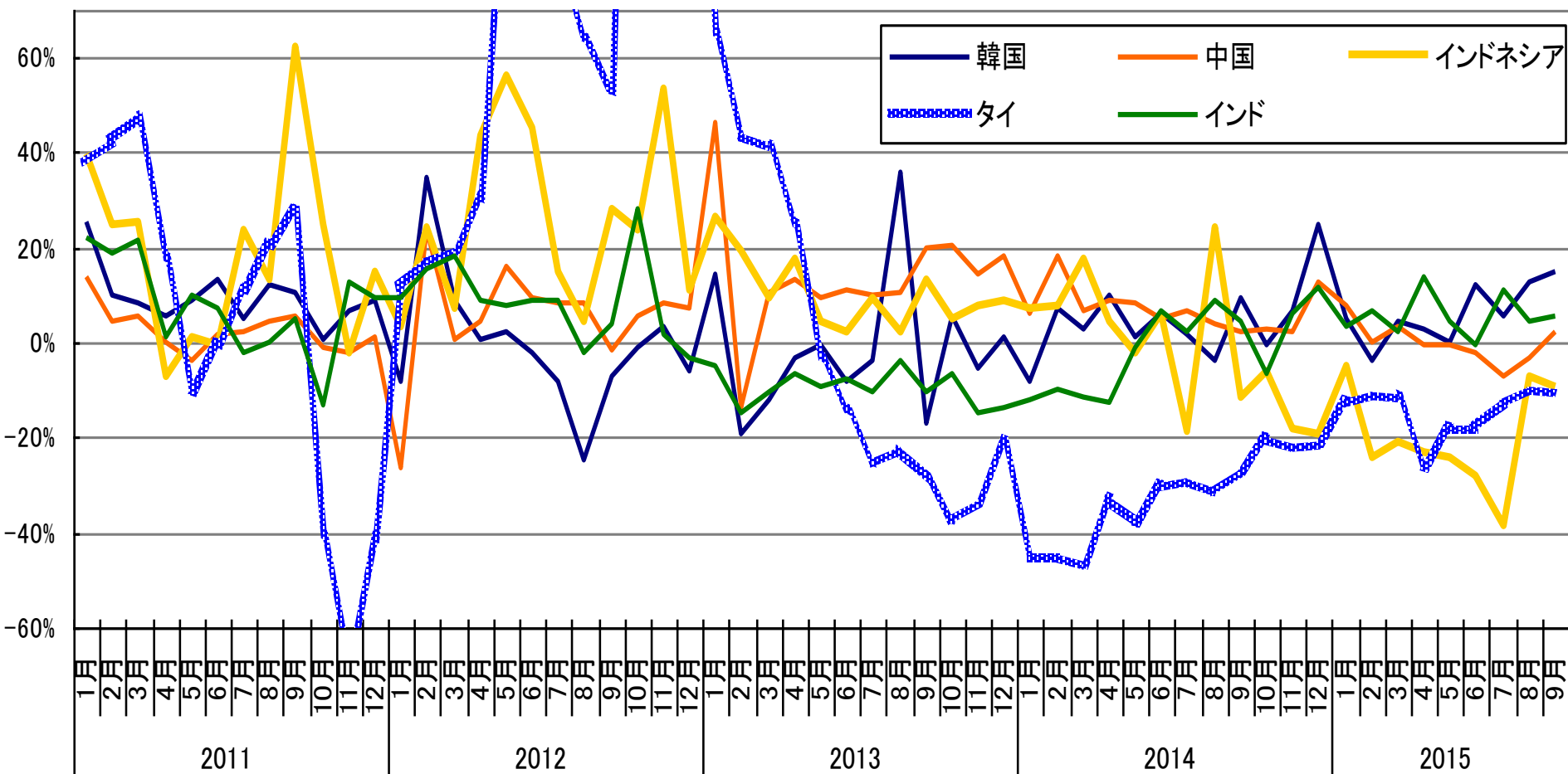




海外販売環境

主要国自動車販売

自動車販売台数(対前年同月比)

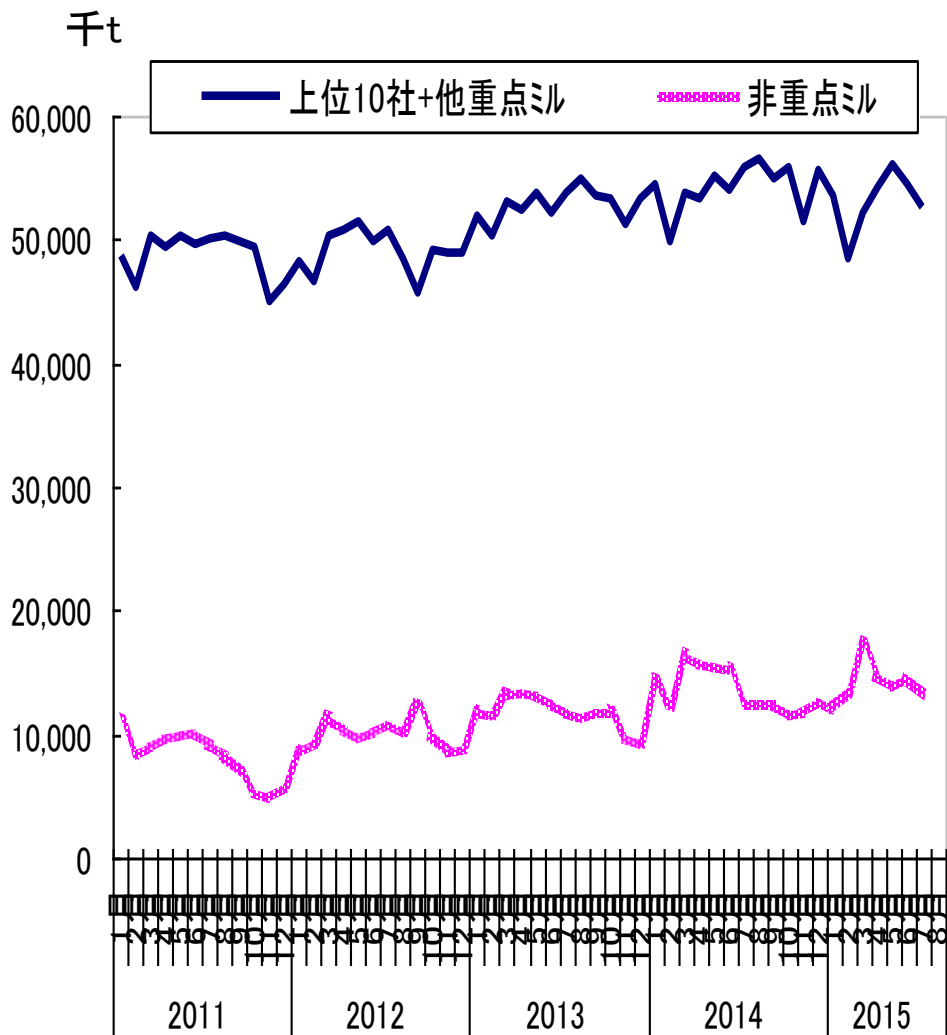




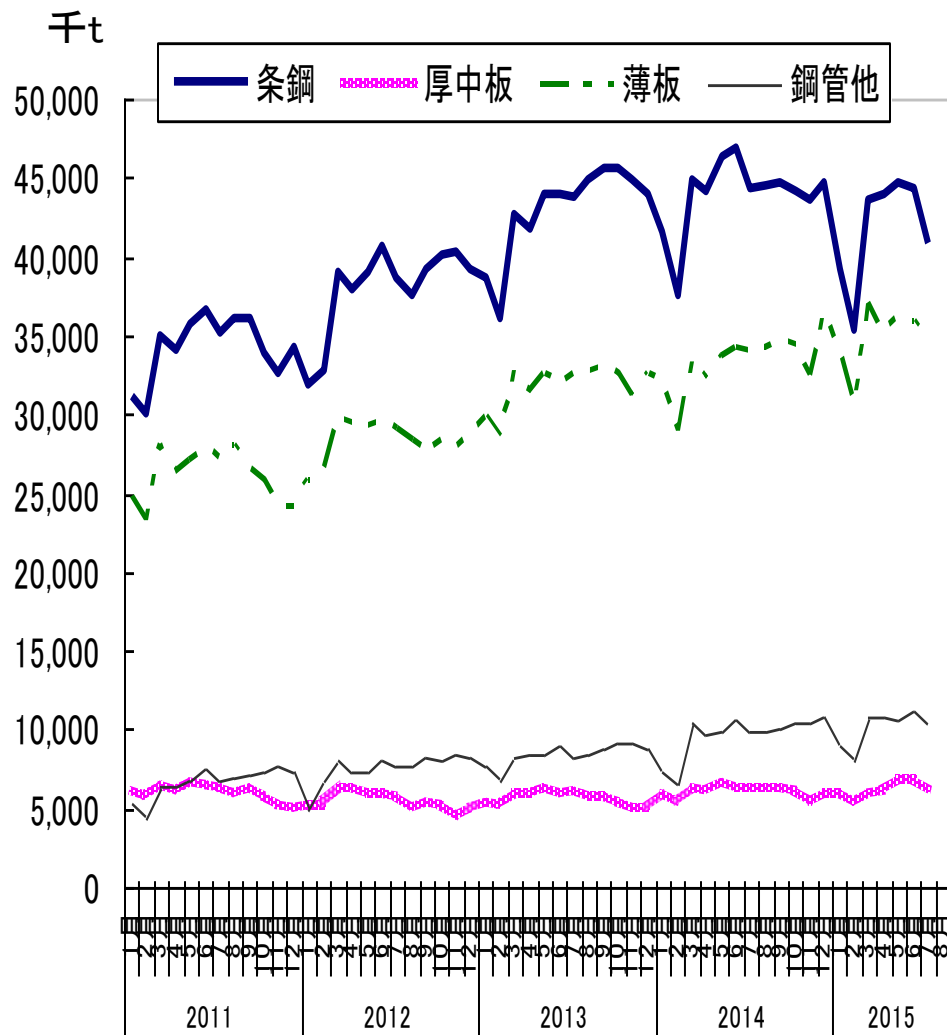
海外販売環境

中国ミル別粗鋼・品種別鋼材生産

中国ミル別粗鋼生産



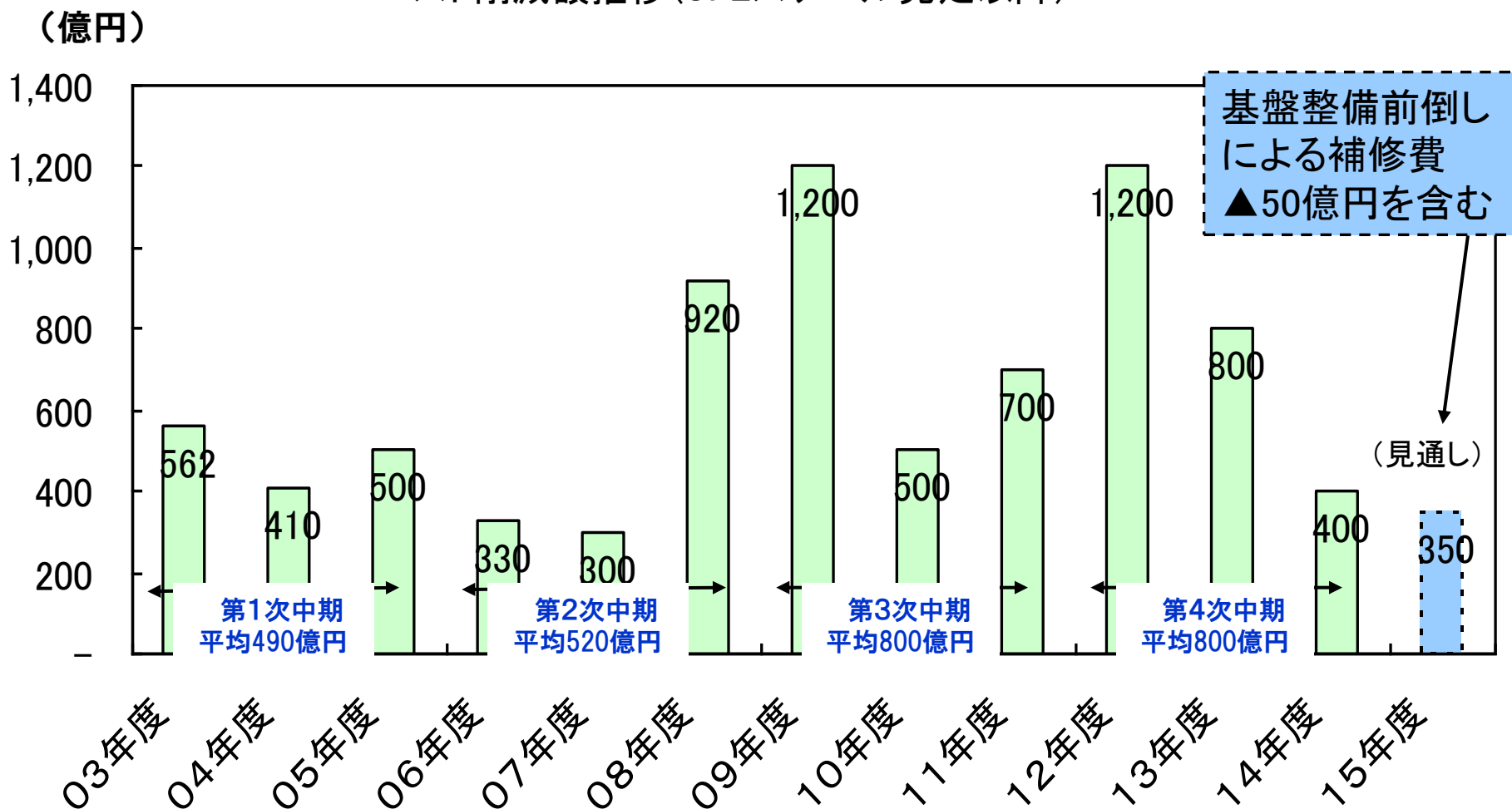
中国品種別鋼材生産



コスト削減推移（鉄鋼事業）

JFE

コスト削減額推移（JFEスチール発足以降）



(参考)2015年4-6月⇒7-9月連結経常利益 ▲44億円内訳

単位:億円

JFEスチール			15年度 上期 実績	差異 4-6月→ 7-9月
	4-6月	7-9月		
経常利益	215	171	386	▲ 44

- コスト削減 + 20
- 数量・販価・原料 + 50
- 棚卸資産評価差等 ▲ 50
- その他 ▲ 64

合計 ▲ 44

(参考)2014年度上期⇒2015年度上期連結経常利益 ▲390億円内訳

単位:億円

JFEスチール	14年度年度			15年度上期 実績	差異 2014上→2015上
	上期	下期	計		
経常利益	776	1,109	1,885	386	▲ 390

- コスト削減 + 180
- 数量・販価・原料 ▲ 350
- 棚卸資産評価差等 ▲ 150
- その他 ▲ 70

合計 ▲ 390



JFE

Copyright © 2015 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved

本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい